406)　誰よりも愛してる

初まりはいつだって　他愛ないひとことさ
ためらうように声をかけたら　君の笑顔がふりかえったね
今でも僕は覚えているよ　かけがえのない君だったから
君のこと愛してる　愛してる　誰よりも愛してる　愛してる

一枚の写真には　あの頃の僕がいる
ダイヤモンドをひとりじめして　いばりくさった男みたいに
おごれる心生まれたときに　君は僕から去っていったね
君のこと愛してる　愛してる　誰よりも愛してる　愛してる

哀しみをひきずって　後悔が目を覚ます
心の傷に流れ出る血が　こんなに赤く辛いものだと
教えてくれた恋の終わりを　今しみじみと感じているよ
君のこと愛してる　愛してる　誰よりも愛してる　愛してる

想い出にくれてゆく　歳月（さいげつ）は永すぎる
かけがえのない君だったから　ひとつひとつを忘れはしない
時の流れと僕の心が　溶け合うように暮れてゆく秋
君のこと愛してる　愛してる　誰よりも愛してる　愛してる

→